

志賀原子力発電所 2号機 原子炉の炉心外周部等の 異物点検結果について

平成21年9月17日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機（第2回定期検査を実施中）において、8月17日の使用済燃料貯蔵プール内の燃料上部での布の発見を踏まえ、順次、原子炉及び使用済燃料貯蔵プール内の異物の点検を行ってまいりました¹。

昨日、原子炉の炉心の外周部及び使用済燃料貯蔵プール内について水中テレビカメラでの点検が終了し、異物のないことを確認いたしました。

なお、9月15日に燃料上部で発見した繊維状の異物については、調査中です。

引き続き、今後の定期検査の作業においても、異物混入防止対策を徹底するとともに、異物のないことを確認してまいります。

以 上

1 8月17日布発見以降の原子炉等での異物の点検の経緯

- ・ 8月18日 原子炉内の燃料上部は目視により、使用済燃料貯蔵プール内は水中テレビカメラにより同様の布がないことを確認。
- ・ 8月26～28日 原子炉内の燃料を全て取り出した状態で、原子炉内の確認を行い、新たな布のないことを水中テレビカメラにより確認。
- ・ 9月15～16日 燃料を原子炉に装荷した状態で、原子炉内の燃料配置検査²に併せて、燃料上部の異物の最終確認として、水中テレビカメラで確認していたところ、燃料上部で繊維状の異物を発見し回収。また、原子炉内の他の燃料上部に同様の異物がないことを確認。

2 燃料配置検査

原子炉への燃料装荷後に、燃料が正しく配置されていることを水中テレビカメラを用いて確認する検査